

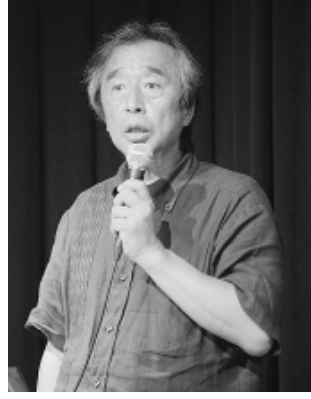
かねひら式1972/2022年表

1972年	
1/24	横井庄一さん発見
2/3-13	札幌冬季五輪
2/19	あさま山荘事件(連合赤軍事件)
2/21	ニクソン電撃訪中
3/27	沖縄返還協定の秘密文書、国会で暴露
4/4	西山太吉・毎日新聞記者逮捕
4/6	米、北爆再開(ベトナム戦争)
4/12	韓国KCIA、金芝河連行
5/15	沖縄返還
5/30	テルアビブ空港事件
6/11	田中角栄「日本列島改造論」発表
6/17	佐藤栄作首相退陣
6/17	ウォーターゲート事件発覚
6/26	屋良朝苗氏、沖縄県知事(二期目)
7/7	田中角栄内閣発足
8/26~9/11	ミュンヘン五輪
8/31	田中ニクソン会談(ハワイ)トライスター導入希望を伝える(→ロッキード事件)
9/5	黒い九月テロ事件
9/29	日中国交回復
11/5	パンダ初来日
11/7	米ニクソン大統領再選
12/10	第33回衆議院議員選挙(自民271 社会118 共産38 公明29 民社19)
12/27	自衛隊、米軍立川基地に強行移駐
南沙織、大ヒット フィンガーファイブ、デビュー	
2022年	
1/1~	コロナウイルス感染増大の一途 一般参賀など中止
1/9	NHK、『河瀬直美が見つめた東京五輪』で謝罪
1/23	名護市長選挙で渡具知市長再選
1/27	沖縄市で数百人の若者が沖縄警察署を取り囲んで抗議行動
2/4~20	高校生が警察官の警棒で右目失明
	北京冬季五輪
2/24	ウクライナへロシアが侵攻
3/23	ゼレンスキー大統領が国会でオンライン演説
4/4	ウクライナで「ブチャの虐殺」発覚
5/15	沖縄復帰50周年記念式典、東京と沖縄で同時開催
5/28	日本赤軍最高幹部・重信房子氏、出所
6/23	沖縄慰霊の日式典に岸田首相参列、3年ぶり
7/8	安倍晋三元首相、奈良市内で銃撃・殺害される
7/10	第26回参議院選挙 沖縄選挙区で伊波氏辛勝
7/26	秋葉原通り魔事件の加藤智大の死刑執行
9/11	沖縄県知事選挙
9/29	日中国交回復50年

分岐点としての2022年

TBS「報道特集」キャスター 金平 茂紀

国葬反対世論は多数 安倍元首相の功罪検証すべき



金平さん

安倍元首相の事件が政治的に利用されるようなことが起こっています。元首相の国葬について世論調査をやればやるだけ反対がふえている。今あらゆる世論調査で反対が賛成を上回っています。

しかし、岸田首相は国葬を決めています。国葬は一説では、警備等を含めて36億円かかると言われています。安倍氏はそのように税金を使っている。

金平さん：使っている人だっただけ。安倍氏も人間ですから、あのような死に方をしたのは個人的には気の毒だと思います。ただ、元首相として、彼が政治家としてやったことには是非がある。それをきちんと検証した上で、本当に国葬に値するかどうか国民の間で議論するべきだと思います。

統一教会と政治家の癒着

法的根拠は国葬の場合ありません。戦前にあった国葬法は、今はない。戦後国葬にな

8月23日、東京土建シニア友の会は結成20周年を迎えました。記念行事を日本教育会館で行ない、TBS「報道特集」キャスターを務める金平茂紀さんが「分岐点としての2022年」と題して講演しました。その一部を紹介します。(文責・見出しも「げんせつ」編集部)

ツキングで、その原因が統一教会というカルト宗教が関わっている、その政治家が癒着していたという由々しきことです。これにフタをするような、あるいは私は全然知らなかったというのはいいい訳にならないと思います。

神格化、弔意強制はダメ

安倍元首相の功罪を検証する機会が、彼がなくなったことで失われようとしている。

ウクライナは切断点 後戻りできない本質的変化

今年が節目だというもう一つはウクライナ侵攻です。僕は「歴史の切断点」という言葉を使います。その前と後では、後戻りできないくらい本質的な変化が起きてしまうことがあります。

たとえば「同時多発テロ事件」(2001年)。「ハイジャックされた旅客機が高層ビルに突っ込んだ事件です。これによってアメリカは全く変わ



高嶺さん

組合の原則守り 活動ガンバル

【多摩・稲城・電気・高嶺後一通信員】講演は多岐にわたる、かねひら式1972/2022年表で、今と50年前の社会政治がどの様に変化したかを判りやすく、聴く事ができました。

今日、コロナ禍、ロシア軍によるウクライナ侵攻、安倍元首相の銃撃殺害事件、国葬開催など国民を二分する事項が山積して今後どの様に流れていくのか予知できない状況だと思っています。

講演の中で「与党にすり寄る組合」が出てきて組合活動が危ういとの話がありました。

東京土建は「たたかつて学び、学んでたか」集団で「どの政党、宗教団体にも忖度しない」を原理原則に先人の戦いがあって基盤ができ、現在の組織を作り上げて来たと思っています。私も、組合員としてシニア会員として頑張っているんです。

侵略は自衛の名目で実行

ロシアによるウクライナ侵攻はまぎれもない侵略戦争です。国連に加盟する独立国であるウクライナに別の国であるロシアは軍を越境させ、そこにあるインフラ、建物を破壊して人々を殺しているわけですから。どのような言い訳をしても侵略戦争であることは間違いない。ただロシア国内では「戦争」と言う言葉を使えません。ロシアのテレビ、新聞では使ってはだめだということになっている。最高刑、懲役15年の罪になるのです。こんなバカげたことが起きているのです。彼らは特別軍事作戦などと呼んでいます。

歴史を振り返ってみると、あらゆる侵略は、実は自衛と偽られていました。日本でも、たとえば上海事変とか満州事変とし、戦争という言葉を使いませんでした。日本が軍を出した理由は、邦人保護です。プーチンがやっていることと同じことをやっていたのです。

今起きていることの歴史的意味をもっと長く考えた場合には、ヨーロッパの歴史家が言っているのは、冷戦終結の最終段階ということ。ベルリンの壁崩壊、ソ連崩壊で冷戦は終わったと思っていたら、とんでもなくて続いている、最終段階だということ。僕もその説に賛成です。

シニアはジュニアに伝承を

ウクライナ侵攻を見据えてこれから何を考え、どのようなことができるのでしょうか。僕の考えは「戦争してはいけない」ということ。「殺すな」「殺しちゃいけない」ということです。戦争とは人を殺すことです。正義の戦争と言った側は自分たちの戦争を正義だと言っています。ロシアもウクライナも自分たちの戦争を正義の戦争と言っています。戦争の本質は人殺しなので、正義の戦争はないと思います。武器供与というのは非常にズルい考え方で、自分の手を染めず人殺しを人にやらせるということです。それで儲かっているのは誰かというのを考えた方がいい。

シニアの重要な役割はジュニアに対して自分たちの考えをきっちり伝承していくことです。今の若い人たちに分かりっこないではないけません。伝承するために僕たちが生き残っているのです。